Ⅱ　令和5年度　五和小中学校　経営基本構想

【建学の礎（五和の精神）】:「和をもって貴しとなす」「徳高く、志高し」

五和小校訓:未来に向かって
「かしこく、なかよく、たくましく

五和中校訓
「創造」「礼節」「躍動」「仁愛」

《学校教育目標》志高く、ふるさと五和を担う「知・徳・体」の調和のとれた児童生徒の育成
～一人一人の夢を叶えるために　Independence & Cooperation ～

めざす学校像	めざす生徒像	めざす教職員像
○地域と共に教育活動を展開し、地域に信頼される学校　（地） ○一人一人の学びを保障した教育活動が展開される学校　（知） ○互いの人格を尊重し、人権意識が高い学校　（徳） ○健やかな体や豊かな心を育む学校　（体）	○ふるさと五和を愛し、志高い児童生徒　（地） ○課題解決に主体的・協働的に取り組む児童生徒　（知） ○礼儀正しく、思いやりがあり忍耐強い児童生徒　（徳） ○健康や体力向上をめざし、最後までやり抜く児童生徒　（体）	○地域とつながり、誰からも信頼される教職員　（地） ○使命感と矜持をもち、学び続ける教職員　（知） ○教育的愛情と人権感覚をもち、児童生徒の「今」と「未来」を大切にする教職員　（徳） ○心身の健康を保ち、情熱をもって教育にあたる教職員　（体）

基礎期 （小1・2・3・4）	定着期 （小5・6、中1）	発展期 （中2・3）
生活や学習の基盤づくり 基本的な生活習慣、学び方の習得をめざす。 【学び・生活の基盤】	小中学校の接続の強化 規範意識の醸成、主体的な学習態度の定着をめざす。 【個性・能力の伸長】	小中連携教育の結実 社会性や自主的な学びの確立をめざす。 【個性・能力の伸長】

〈育成をめざす資質・能力〉

Independence　〈1人になれる力〉
○自ら学び、気づき、考えることができる資質・能力
○相手を思いやる言動をすることができる資質・能力
○自分自身を律し、困難に立ち向かうことができる資質・能力

Coopration　〈1つになれる力〉
○情報を共有しながら対話や議論を通じて多様な考え方の共通点や相違点を理解し、協力しながら問題を解決していく資質・能力
○集団との関わりの中で、自己の感情や行動を統制できる資質・能力

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
○地域に意欲的に学ぶ力　（地） ○既習の知識・技能を活用し新たな知識・技能を再構築する力（知） ○自己内対話を通して道徳的諸価値を理解する力　（徳） ○基本的運動能力と基礎体力向上（体）	○地域への情報発信能力　（地） ○知識・技能を状況に応じて使い分け利用できる力　（知） ○自己肯定感と意思決定できる力（徳） ○心身の健康を維持できる力（体）	○自ら地域に貢献しようとする態度　（地） ○学んだことを生活に生かす力（知） ○互いに対等な関係を築こうとする態度　（徳） ○困難に立ち向かうことができる態度　（体）

〈努力目標・重点努力事項〉（9年間の系統的・継続的な学習及び児童生徒指導）

Ⅰ　信頼される地域とともにある学校づくりの推進
○保護者、地域、関係機関との連携
○学校運営協議会や学校評価等の充実により、学校・家庭・地域が目標を共有し、連携・協働した特色ある教育活動の推進
○五和中校区保小中連携カリキュラム「すこやか　五和っ子」の推進

Ⅱ　確かな学力の育成	Ⅲ　豊かな心の育成	Ⅳ　たくましい体の育成
◇学年ブロックに応じた指導　◇9年間を見通した指導内容の作成と実践 ◇小中合同会議・研修の設定　◇EJ授業、小中合同学校行事、異学年交流活動の実施		
◎自己学習力、主体的で意欲的な学びの確立 ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（熊本の学　び推進プランの研究推進） ○タブレットの活用 ○読書活動の充実	○自己実現、社会貢献の心を育てる特別活動、体験活動の充実（ふるさと学習） **○いじめ・不登校の未然防止と生徒指導の充実** **◎全ての教育活動による道徳教育、人権教育、特別支援教育の推進** ○環境教育の推進	○体力向上の取組と部活動の適正な運営 ○安全教育、防災教育の充実 ○家庭と連携した食育の推進 ○保健指導の徹底と自己管理力の育成 **◎基本的生活習慣の育成**

信頼される教職員、安全で美しく潤いのある教育環境

基礎期・定着期・発展期、学級の具体的な実践事項